

干し柿づくり

11月13日(月)に利用者の皆様と干し柿づくりを行いました。柿の皮を剥いたり、吊るすひもを柿に結びつけたり、それを吊るしていただいたりと、個々のできる範囲で楽しみながら行うことができました。実際にやってみると利用者様の方が詳しくて、職員の方が勉強させていただきました。3週間ほど干していましたが、その間も出来具合をみんなで気になっていました。完成した干し柿は皆様にお召し上がりいただいたりお持ち帰りいただき、大変にお喜びいただきました。



消防訓練

11月14日(火)消防訓練を行いました。日中、厨房にて火災が発生したとの想定で、消火班による初期消火を行い、通報連絡班は119番通報を、避難誘導班にて利用者様を屋外へ避難しました。終了後、志太消防本部平口様より講評をいただきました。施設は耐火性能が高く、スプリンクラーも設置されているため、避難誘導は落ち着いて行うことができること、役割分担できていたことや初期消火対応について評価をいただきました。今後の課題としては、職員が手薄の時間帯などでの避難訓練の実施などについてもご提案いただきました。



透析治療の勉強会

12月20日(水)、北川医院透析室の石橋臨床工学技士を講師に招き、透析治療についての勉強会を行いました。血液透析の必要性、しくみ、治療中の方との関わり方などを学びました。食事での注意点やシャントの重要性、精神的ケアについてなど多くの質問がでました。医療と介護の連携として、透析治療中の方を医院と通所のチームで支えたいと努力してまいります。



スタッフ募集中

募集職種: 看護師・看護助手・介護職員
理学療法士・作業療法士

(常勤・非常勤問わず)

詳細は、採用担当 山路までご連絡ください。

電話: 054-634-3222

企画・編集: 高仁会 広報誌委員会
発行: 平成30年1月4日
医療法人社団高仁会
TEL 054-634-3231

スマイル通信

No.14
2018年1月

新年のごあいさつ

理事長 北川 元昭

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては新たな決意を胸に秘めて新しい年を迎えられたことと思います。また、旧年中に当法人に受け賜りました数々の暖かいご支援とご助言に対しまして職員一同心より御礼申し上げます。

さて、皆様お正月の遊びの中で「福笑い」をご存じでしょうか？近年は核家族化のためあまり遊ばれなくなってしまいましたが、福笑いは出来上がった物や、作っている最中の物を見て皆で笑い合うことから「笑う門には福来る(わらうかどにはふくきたる)」ということわざのように新年の福を祈願するために遊びます。いつも笑っている人の家には、自然に幸福が訪れるという意味があるということです。この笑うということですが、最近では医学の分野でも笑いの効果に着目して研究が進み、運動効果が上る・免疫力がアップする・自律神経のバランスを整える・脳を活性化するなど様々な病気の予防や改善に役立つことが証明されています。まさに「笑う門には福だけでなく健康もやって来る」ということです。しかし、プレッシャーやストレスに包まれた毎日の仕事の中で生活していると、出来るなら笑顔をやささないようにしたいと思いつつも、どうしても笑顔が少なくなり不機嫌な顔になりがちになってしまいます。結果的に自分に意見を言ってくれる人、適切な指導をしてくれる人がどんどんいなくなってしまい、他人に不愉快な思いをさせたりして人間関係の悪化につながってしまいます。日本人は他人の気持ちに敏感で同調しやすいため、誰か一人マイナスの雰囲気を持っている人がいれば、その周辺はあっという間に暗く重い雰囲気になってしまいます。しかし反対に考えれば、誰かいつも笑顔の明るい人がいれば周囲を楽しい雰囲気にさせる事だって可能だということです。明るい笑顔や大きな笑い声は、活気を与え、周りの人を元気付けることができます。自然に笑顔が表現出来ることは難しいことと思いますが、仕事や生活を通じていつも笑顔を意識して生活することが大事ではないかと思います。

昨年の6月1日より「通所介護施設たかす」が運用開始されました。利用者様も順調に増えており、医院ともども多くの方々に利用して頂いております。皆様方に笑顔を振りまくことを忘れずに接して、愛される医療法人として地域医療ならびに介護の発展に貢献できるように精一杯頑張っていきたいと思っております。本年も皆様方のさらなるご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。